## プラズマ・核融合学会誌

## 第90巻第11号

2014年11月

<ul> <li>小 特 集 高速点火レーザー核融合実験の進展 ~過酷環境下での計測技術の発展から見えてきたもの~</li> <li>1. はじめに 白神宏之, 疇地 宏, 三間圀興</li> <li>2. 高速点火実験における高ノイズ過酷環境下でのX線並びに中性子計測</li> </ul>	
	655
4・ 同処点八大級におりる回ノコハ週間機免1 ∇ⅥΛ 燃业∪ 医甲耳月明	
中 井 光 男, 有 川 安 信, 古賀麻由子, 安 部 勇 輝,	
	659
3. 高速点火実験における硬 X 線絶対分光と電子計測 有 川 安 信, Zhe Zhang,	
	665
4. 超短パルスレーザーで生成した単色 X 線を用いた高精度高密度プラズマ計測	
	672
	679
<b>小 特 集</b> 太陽系プラズマ	
	685
	687
3. 地球磁気圏	
	691
	697
	704
	708
	713
講 座 今日からはじめる磁場閉じ込めプラズマ実験	
4. プラズマのいろんなパラメータを測るよ!	
4.1 センサーを使ってプラズマを診る! 山 本 聡	719
4.2 信号を正しく伝送する! 江 角 直 道	727
コラム 5 一寸の光軽んずべからず 北 島 純 男	730
	731
	732
	740
	741
	742
レビュー論文 核燃焼プラズマにおけるレーザー偏光法を用いた電流密度,電子密度および	
	743
	748
	749
JT-60 共同研究優秀賞の選考結果について	
ITER だより(48)	
Plasma & Fusion Calendar ·····	752
	753
	754
編集後記	

## 表紙の絵

円筒形放電型核融合装置において(a)陽極(両端)を接地電位とし陰極(中央)に負電位を印加した場合(b)陰極を接地し陽極に正電位を与えた場合,におけるイオンの軌跡および等電位線の計算結果.陽極接地の方が中心軸上にイオンがより集中し,陰極や絶縁体に衝突するまでの軌跡が長いことがわかる.(NOBORIO Kazuyuki, Plasma and Fusion Research Vol.9, 1306142 (2014) http://www.jspf.or.jp/PFR/)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、他学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(他学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先:一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル3FTel:03-3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp 複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては、他学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.